

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

2019 年度

| | | | | | |
|------|-----------|-----|-------|-----------|---|
| 法人名 | 暮らしネットえん | 代表者 | 小島 美里 | 法人・事業所の特徴 | 地域に根ざした事業所を目指して開設から 14 年目になった。利用者がこれまで地域に暮らしてきた関係性を大切にし、その生活を継続していただけるよう支えている。小規模多機能の特性を活かし、出来る限り柔軟に対応している。職員間では情報の共有、互いのケアの質向上に努めている。民家改修型の建物で、家庭的な雰囲気心がけている。利用者、ボランティア、職員が共に過ごす時間が心地よいと感じられるよう努力している。 |
| 事業所名 | 多機能ホームまどか | 管理者 | 菅 嘉子 | | |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|------|
| | 1 人 | 1 人 | 3 人 | 1 人 | 1 人 | 1 人 | 0 人 | 3 人 | 3 人 | 14 人 |

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|---------------|--|--|---|---|
| A. 事業所自己評価の確認 | <ul style="list-style-type: none"> 自己評価の設問に理解に苦しむスタッフが散見され、各自の解釈に大きな相違が生じた。次回から、設問への解釈を全員で確認して取り組み正確に事業所の事業内容等を伝える。 自己評価をまとめるミーティングへの参加者を増やすため、複数回行なうなど参加する機会を設ける。 | <p>今年度は設問ごとに解釈の確認を行った。その結果、前回スタッフ間で生じていた解釈のズレは改善でき、事業所自己評価はスムーズに行なえた。ミーティングを 2 回に分けて開催。17 人のうち 15 人のスタッフが両日もしくはどちらかに参加できた。スタッフ個別の評価は全員が提出している。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 改善計画の中で「担当民生委員を把握する」とあり、何らかの地域の支えが必要になった場合に協力をお願いすることを想定している。民生委員は地域で問題のある方を把握しており、徘徊者への連携やごみの問題など共有できることが多くあるのではないかと。また、「以前の暮らしを 10 個以上把握していますか」など、設問が分かりにくく返答に困るものも多くあり、全体的に見直すべきだ。 | <p>民生委員との連携で改善ができそうな問題が生じた場合、積極的に民生委員と連絡を取って、一緒に問題に取り組んでみる。</p> |

| | | | | |
|---------------------------------|--|--|---|--|
| <p>B. 事業所のしつらえ・環境</p> | <p>・運営推進委員の方に事業所の雰囲気や取り組み方を見学していただく機会を設ける（前回の見学日は1回のみだったので、今回は少人数で複数回にする）。</p> | <p>運営推進会議の委員の方に、避難訓練などの他にもいつでも来ていただけると呼びかけをしてきた。雰囲気等は委員の利用者、ボランティアの方たちが会議の中で他の委員に伝えてくださった。</p> | <p>・狭いと思う（事業所は心地がよい空間になっているかの設問に対して）</p> | <p>“狭い”というハード面は否めないが、その中でも居心地よく感じてもらおう努力をしている事実をきちんと伝える。</p> |
| <p>C. 事業所と地域のかかわり</p> | <p>・通りに面した掲示板に「まどか」と明示し、相談を承っていることを掲示して地域の方にも事業所が目に入るようにする。</p> | <p>掲示板に「多機能ホームまどか」「介護・認知症の相談はいつでもどうぞ」と掲示した。</p> | <p>・事業所の設置場所は石神なので栗原の人は知らない ・事業所が相談しやすい場所かはわからない。訪れる方がいるのは相談しやすいということになるのではないか。 ・地域の行事やイベントに参加して、近隣に配布するまどか通信で報告している。</p> | <p>地域の人に認知してもらうために、まどか通信を町内会や公民館に掲示していただけるようお願いする。</p> |
| <p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み</p> | <p>・利用者以外の近所の方への関わりを、引き続き報告していく。 ・利用者の行動を妨げていないことや、地域参加を積極的に行なっている事を運営推進会議等で伝える。</p> | <p>だれでも食堂などに通いサービスの時間外で利用者が参加するために地域の方に送迎をお願いした事例を、運営推進会議で報告した。</p> | <p>・利用者以外のご近所の心配な方について具体的に事例を知りたい（例えば近所のスーパーの男性を見守っている）</p> | <p>本人の暮らしを支える取り組み事例をまとめる。</p> |
| <p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p> | <p>・運営推進会議で、引き続き地域での事例を文書や口頭でも報告し検討していく。</p> | <p>今年度、運営推進会議で報告した事例は近所の人に関わり地域の行事に参加しているまどか利用者の事例を報告した。</p> | <p>運営推進会議で出た意見について、改善したことを次回の運営推進会議で報告した方がよい。</p> | <p>運営推進会議で出た意見に対して、改善を目的に行なったことを文書化して丁寧に報告する。</p> |
| <p>F. 事業所の防災・災害対策</p> | <p>・引き続き防災計画書を運営推進委員や家族に渡し、防災訓練への参加を呼びかけていく。</p> | <p>防災計画書は、家族と運営推進委員に配布した。また、防災訓練参加の呼びかけ、報告をした。</p> | <p>特になし。</p> | <p>引き続き防災訓練の参加を呼びかける。</p> |